

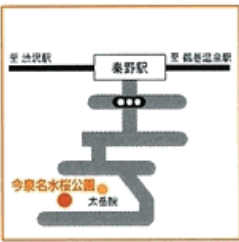
秦野さんぽ

春夏号

■ 秦野を散歩して再発見するマガジン ■

名水の里はだのを巡る

～丹沢の豊かな自然が育んだ名水を求めて～

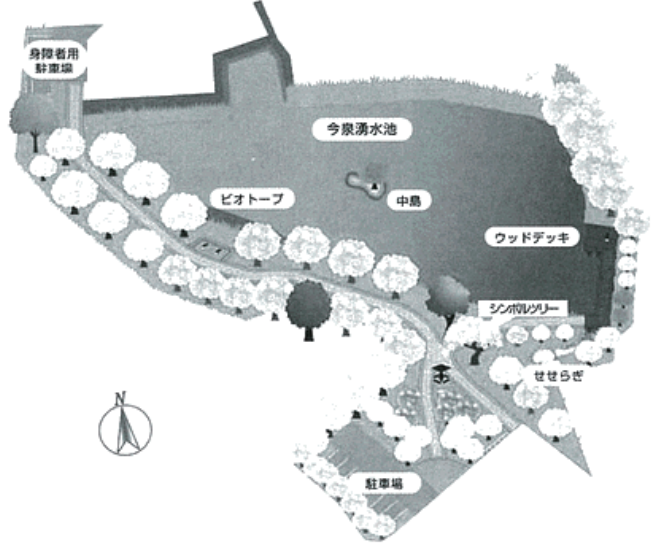


▲記念碑とシンボルツリー(ベニシダレ)

全国名水百選「秦野盆地湧水群」の中でも豊富な湧水量(日平均2,500トン)を誇る今泉湧水池。市制施行50周年記念として、名水の里にふさわしいこの湧水を活用し、地域の人々に憩いと潤いを与える湧水と桜の公園を整備し、本年2月1日にオープンしました。

水辺には、開花時期の異なる18種類もの桜や、市の木「こぶし」、「さざんか」、市の花「アジサイ」などが植えられ、四季折々の彩りを楽しみ、1年を通じて散策を楽しむことができます。

●アクセス・小田急秦野駅南口から徒歩約5分



▲公園案内図

今泉名水桜公園



●アクセス・小田急秦野駅北口から菩提原バス停下車
 徒歩約60分

丹沢山系の山麓に数多くある湧水の一つ。昭和60年に秦野盆地湧水群が環境庁の「全国名水百選」に選定されたことを契機に、地元の人々の手によって整備されました。広場も整備されており、水汲みや水遊びをする人々で賑わっています。



▲葛葉の泉

葛葉の泉

●アクセス・小田急秦野駅北口からヤビツ峠行きバス終点下車
 徒歩約30分

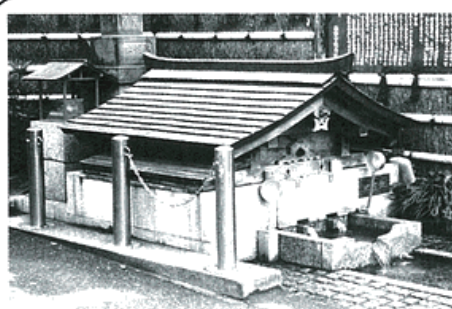


護摩屋敷とは、山伏がヌルデの木などを焚いて修行するところをさします。修行に訪れた僧たちは、この水で身を清めたと伝えられています。この水は、美味しいことで有名で、遠方から多くの方々が水を汲みに訪れます。

護摩屋敷の水



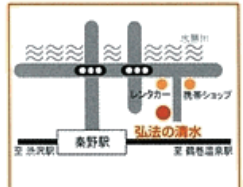
▲水を汲む人たちが賑わう護摩屋敷の水



▲弘法の清水

前後で安定しています。
 ●アクセス・小田急秦野駅北口から徒歩約5分

一人の僧が、水を求めてある家を訪ねたが、その家には水がなく、家の娘が水を求めて遠くまで行ったことに僧は大変感激し、杖を地面につくとそこから水が湧き出たといわれます。後にこの僧が弘法大師とわかり、「弘法の清水」と呼ばれるようになりました。年間を通して水温は16℃前後、水量は日100トン



弘法の清水

その他の名水

今泉名水桜公園周辺には湧水群としていくつもの湧水があるほか、丹沢山系の山麓などに「電神の泉」、「春嶽湧水」、「若竹の泉」などさまざまな湧水があります。

Let's Go! 散歩 第15回

～ポカポカ陽気に誘われて～

四十八瀬川のせせらぎと 戸川公園の花を楽しむ



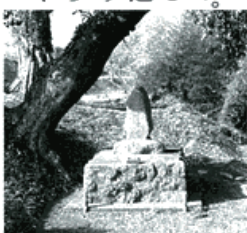
戸川公園のシンボル「風の吊り橋」

表丹沢 県民の森・ 県立秦野戸川公園コース をハイキング

今回は、春の陽気に誘われて、表丹沢県民の森・県立秦野戸川公園ハイキングコースを散策します。コースは、みくるべから黒竜の滝を経て戸川公園に至るコースです。渋沢駅北口を出てみくるべ行きのバスに乗ります。終点の手前「榎戸」バス停で下車し少し行くと右手畑の奥に2本の杉の木が見えます。そこを指してあぜ道を行くと、その木のすぐそばに、地元では「頼朝はん」と呼ばれている鎌倉幕府初代将軍源頼朝を慕った供養塚がひっそりと建っています。碑には戒名らしき文字と没年が刻まれています。



表丹沢県民の森「みんなの広場」



「頼朝はん」と呼ばれている供養塚

再びバス道に戻りしばらく歩くと右に入る道（源蔵畑道）が出てきます。この分岐点には表丹沢県民の森を案内した看板があり、そちらに入ると右に



表丹沢県民の森遊歩道

り、みくるべ病院の脇を通過し、四十八瀬川のせせらぎを感じながら川沿いの林道を進んでいきます。途中左に分岐する林道が出てきますがそのまま進むと表丹沢県民の森です。「かしわ」「みずき」「しで」「あぶらちゃん」「笹地」の5つの森があります。トイレも整備され、また、多くの遊歩道や広場、

休憩所などがあり、自然を満喫しながらのんびりと森林浴や散策が楽しめます。ちよつと時間があれば樺山（くぬぎやま）まで登ってみましょう。雄大な眺望に、これまでとは違った爽快感が得られます。



黒竜の滝

黒竜の滝の発するマイナスイオンを思う存分浴びた後は、5分ほど登って西山林道に出ます。後は、四十八瀬川沿いのこの林道を下り戸川公園までひたすら歩きます。この林道では、ちよつとした登山を終えて下山している雰囲気を感じます。戸川公園に近づいてくると、民家が現われ始め3月中旬から4月にかけては周辺の畑で多くの菜の花が咲き誇ります。やがて戸川公園です。戸川公園は、秦野盆地に流れる水無川両岸の自然を生かした公園です。公園のシンボルでもある「風の吊り橋」は、長

れたと言われており、塔ノ岳、鍋割山を源とし、秦野盆地西部を北から南に流れています。市内では最もきれいな川で、アブラハヤ、カジカなどが生息しています。この清流のせせらぎを楽しみながら、橋を渡って少し行くと落差15メートル、夏でも濡れることがないといわれている黒竜の滝の雄大な姿を眼にすることができます。

岡県で開催された第34回関の露白笹鼓が全国新酒鑑評、ご賞味を!

協会のホームページでもご覧いただけます。<http://www.kankou-hadano.org/>

丹沢の麓の大自然と 人の手が育んだお土産の数々

観光協会が推奨品として認定した秦野の味と伝統を伝える特産品を取り揃えて販売しています。お客様のおもてなしに、お出かけのときのお土産に、また、お中元、お歳暮にどうぞご利用ください。<一部取り扱っていない商品がありますのでご了承ください>



〈駐車場〉
小田急マルシェ秦野駅南口駐車場
1,000円以上お買い上げのお客様に1時間の無料駐車券を差し上げます。



おみやげ処 やまなみ

営業時間:
午前10時～午後9時
定休日:
月曜日
(祝日の場合は、翌平日)
TEL.0463-77-1576

市営の日帰り温泉「弘法の里湯」の中にある、おみやげ処「やまなみ」でも各種推奨品を取り揃えております。温泉やハイキングの帰り等にぜひご利用ください。(弘法の里湯に入らなくてもご利用できます。)



名産センター

午前9時～午後8時 年中無休
13-6477 FAX.0463-84-6712
も承ります>



神山滝への案内板

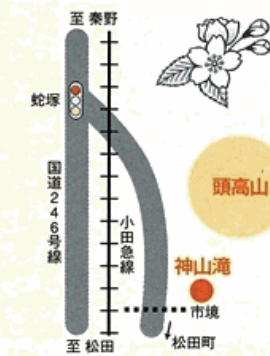
このハイキングコースにある黒竜の滝のほか秦野には「名水の里」にふさわしい滝があるのをご存知ですか。丹沢山系にある「ミズヒ大滝」、「琵琶の滝」、「不動の滝」、

ご存知ですか



神山滝の雄大な眺め

そして松田町との境、頭高山の麓にある「神山滝」の5滝です。



ここでは、最も身近にある「神山滝」をご紹介します。県道710号線を山側に5分ほど登ったところにある、かつての矢倉沢往還のそばを流れる滝です。頭高山から大井町、松田町との境界側に入った先にある二段の滝で、落差は20mほど、すぐ近くを国道246号や小田急線が走っていることを忘れさせる雄大さがあります。

と頼朝の座像が納められています。古くは、比叡山末の慈眼寺と称し、鎌倉時代初期から天台宗の寺でした。天台宗は、真言宗と共に山岳信仰と結びつき、修験道のものとなり、そのためこの観音院は塔ノ岳と関わりが多い寺です。また、「頼朝はん」こと源頼朝公募所のお宮を飾っていた彫刻



観音院

「榎戸」バス 停下車後、すぐに左折し、突き当りを右に曲がり100m行った左手にある観音院。

チヨット寄り道 観音院



戸川公園付近の菜の花畑

さ267m、高さ35mの美しい橋です。また、公園内では、5月にはチューリップ、6月にはアジサイが咲き誇り、見る者を楽しませてくれます。そして、このハイキングの最後には、公園内にある茶室「おおすみ山居」で優雅に和風の庭園を見ながら抹茶を嗜みハイキングの疲れを癒し、戸川公園を後にし、バスで渋沢駅に向かいます。



<コース延長及び参考所要時間>

- 榎戸バス停 → (約5分・150m) → 源頼朝供養塚(「頼朝はん」)
- (約90分・3,700m) → 表丹沢県民の森 → (約10分・200m) →
- 黒竜の滝 → (約90分・3,950m) → 県立秦野戸川公園

※みくるべ行きのバスは便数が非常に少ないため、事前に確認しましょう。また、4月からは渋沢駅南口からの発車となります。

2006 秦野観光写真コンクール

～あなたの写真で秦野のPRを！～

表丹沢の美しい自然、秦野の四季・史跡・名勝・行事などを題材にした、秦野にちなんだ作品をお待ちしております。入賞作品は、本町公民館、秦野市商工まつり等で展示されるほか、市や観光協会が作成するパンフレットやホームページなどに使用されます。

【作品規定】
2006年中に撮影した未発表で他に発表の予定のないもの。カラープリント2L以上ワイド4ツ切まで。デジタルカメラ可。なお、入賞作品の著作権は、観光協会となります。

【募集期間】
平成19年1月4日～1月31日

秦野のみやげ

この度、秦野市観光協会の推奨品であるわさびや茶園の「丹沢特産 秦野銘茶」東ブロック茶の共進会(1都10県)で金賞を、また、同じく(有)金井酒造店の「原酒笹の露白笹鼓」で金賞を受賞しました。いずれも、秦野名産センターでお取扱しております。



丹沢特産 秦野銘茶 緑茶工房(有)わさびや茶園 秦野市菩提908 ☎75-1571

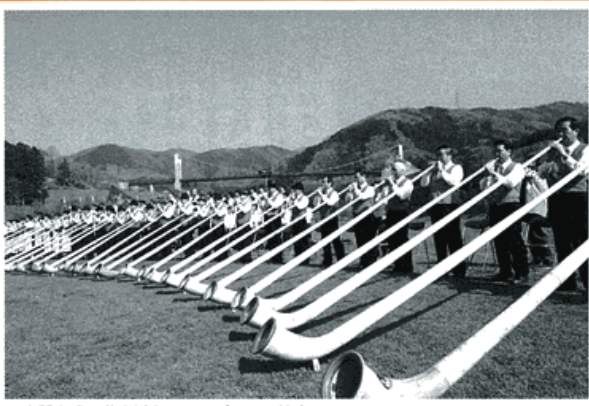


原酒笹の露白笹鼓 (有)金井酒造店 秦野市堀山下182-1 ☎88-7521

秦 営業時 TEL.04 <各地>

春まつりを 楽しもう

丹沢まつり
4/15(土)・16(日)



▲山開き式に華を添えるアルプホルン演奏

丹沢に春の訪れを告げる恒例の「秦野丹沢まつり」。50回目を迎える今年も、4月16日(日)に丹沢の玄関口である県立秦野戸川公園で「山開き式」を実施します。丹沢の美しい山並みを背景にアルプホルン、コーラス、和太鼓の演奏を交え、山伏に清められた山門を開き、集中登山に出発します。登山者だけでなく一般の方も必見です。また、西中学校校庭、渋沢駅周

辺でも50回の節目にふさわしい趣向を凝らしたさまざまなイベントが開催されます。

山開き式以外の主なイベント
15日(土) 前夜祭(会場：西中学校校庭) 和太鼓、子供ショー、よさこい踊り、ジャンボ火起こしによるキャンプファイヤーなど
16日(日) 米倉丹後守子供大名行列(渋沢駅周辺) 子供大名行列、山伏行列や音楽隊などによるパレード。昨年に引き続き水戸黄門一行に合田雅吏さん扮する格さんが登場するほか、壮観なハーレーダビッドソンなども加わりより一層華を添えます。
秦野ストリートフェスタ(渋沢駅南口)
ストリートミュージシャンによる野外ライブ
丹沢まつりダンスステージ(西中学校校庭)
高校生、大学生のダンスサークル等による演技披露
●戸川公園へのアクセス・小田急渋沢駅北口から大倉行きバス終点下車※16日(日)朝は集中登山出発式にあわせ無料バスあり
●西中学校へのアクセス・小田急渋沢駅から徒歩約5分

秦野桜まつり
4/1(土)・2(日)



▲中央運動公園前の桜のライトアップ

かながわの景勝50選、かながわの花の名所100選として知られ、関東の富士見百景に選定された弘法山公園は毎年4月になると二千年の桜が山全体をピンク色に染めます。3月25日(土)〜4月9日(日)まで、夜間は提灯が午後9時まで点灯されます。また、中央運動公園前水無川沿いの桜60本にも同期間ハロゲンライトによる桜のライトアップが行われます。いずれも、昼間の桜とは趣を異にした桜が楽しめます。

●弘法山へのアクセス・小田急秦野駅北口から平塚方面行きバス河原町下車徒歩約30分
又は曾屋弘法行きバス弘法山入口下車徒歩約15分 ●中央運動公園へのアクセス・秦野駅北口から高砂車庫経由バス運動公園前下車

泉蔵寺千歳ワッペンまつり
4/16(日)

千村の泉蔵寺では、4月16日(日)に「チューリップまつり」が開催されます。当日は、境内いっぱい咲く5万本のチューリップが目を惹いてくれるほか、ゲームや餅つき等も行われます。また、鉢植えの即売会も実施されます。

●アクセス・小田急渋沢駅から徒歩約15分又は渋沢駅南口から千村台行きバス東原下車徒歩約10分
※当日は臨時バスあり

鶴巻温泉春まつり
4/29(日)



▲祭りを盛り上げる和太鼓演奏

鶴巻温泉春まつりは、地元商店会や自治会等が中心となって鶴巻温泉駅北口周辺で開催されます。子供ショーや和太鼓の演奏をはじめ、楽しい行事がいっぱいです。

●アクセス・小田急鶴巻温泉駅北口下車すぐ

商工まつり
5/27(土)・28(日)

秦野市の商工業を広く市民に紹介すると共に商工業の振興を図ることを目的に開催されている「秦野市商工まつり」。今年も、5月27日(土)、28日(日)に秦野市文化会館を会場に様々なイベントが行われます。また、特産品コーナーやフリーマーケットなどもあります。

曾屋神社例大祭
7月下旬(日)

曾屋神社はおよそ二〇〇年前ころから鎮座されたとわれ、昔から湧き出る水により地域の住民がうらおったことから信仰が生まれたと言われています。そのような曾屋神社では7月下旬に「例大祭」が行われます。各町内から数々の子供神輿や荘厳な大人神輿2基の渡御があります。クライマックスは日曜日夜の曾屋神社への宮入りです。まちを歩けば鎮守さまのおまつりの原点を見ることが出来ます。

●アクセス・小田急秦野駅から徒歩約25分

秦野フィルムコミッション

秦野市観光協会では、映画・テレビ・CM等のロケーション撮影の誘致を積極的に展開し、映像を通じて「秦野」を広く発信するとともに観光振興及び地域振興を図るため、本年1月15日より「秦野フィルムコミッション事業」を展開し、ロケ地の紹介、許認可手続きの協力、エキストラの募集、紹介などの情報提供から多岐にわたって映像、制作に積極的に協力します。

協会では、製作者の要請に応じるため、エキストラとして撮影に協力いただける方、撮影に協力していただけるロケーション地を募集しています。登録書に必要事項を記入のうえ、郵送または持参してください。登録書は、協会、市内公民館又は秦野駅・渋沢駅各連絡所にあるほか、協会のホームページからもダウンロードできます。



▲弘法山公園での撮影の様子